

令和7年度 英語科及びデジタル科実施状況について

(別紙2)

金沢市立緑小学校

①児童アンケート

(1) 英語科(小学校5年生:令和8年1月実施) (%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語科の勉強が好きだ。	42.0	45.0	4.0	8.0	
問2	英語科の勉強は大切だ。	77.0	16.0	5.0	1.0	
問3	英語科の授業の内容が分かる。	40.0	42.0	16.0	1.0	
問4	先生や友達に英語で質問することができる。	23.0	48.0	22.0	10.0	
問5	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	22.0	47.0	22.0	10.0	
問6	アルファベットの大文字が書ける。	75.0	19.0	3.0	3.0	
問7	アルファベットの小文字が書ける。	74.0	21.0	1.0	4.0	
問8	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	55.0	38.0	1.0	5.0	
問9	教科書の単語や英文を読むことができる。	33.0	47.0	16.0	4.0	

(2) デジタル科(小学校1～6年生:令和8年3月実施)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思う	そう思うわない
問1	自分やみんなのことを考えてICTを使うことができる。	61.9	20.2	14.6	2.3	1.0
問2	生活の中で上手にICTを使うことができる。	61.0	20.2	14.2	2.9	1.7
問3	深く広く学習するためにICTを使うことができる。	57.3	20.6	18.1	2.7	1.2

②指導改善の具体策

【英語科】 ・簡単なフレーズを使い、ペアワークやゲーム形式の活動を取り入れる。友だちと英語が通じ合う楽しさを体験させ、話す・聞くことへの自信が持てるようにする。 ・文字・音・意味を結びつけるため、デジタル教科書の音声やチャンツ・絵辞典を積極的に活用する。単語や英文を自力で「読める」実感を細かく積み重ねていく。 【デジタル科】 ・授業における教職員のスキル不足を補うために、ICTサポーターとの打ち合わせや相談する時間を今以上に捻出できるようにする。 ・Googleスライドやオクリンクプラス等でまとめる力がついてきているので、社会科や算数科等でも資料の読み取りや選択、処理等の授業に力を入れ、ふるさと学習のデータ活用ができるようにしていく必要がある。

③学校関係者評価

・授業にデジタルを活用することでわかりやすい授業につながっているのは良い。電子黒板や大型モニターを授業で大いに活用していくことができれば良い。 ・地域の人材活用や英語学習の際に中学校のALTの授業を行う等、地域の伝統を学ぶ授業や本物に触れる体験学習等をしていることは今後も大切にしてほしい。
--